天童 市議会だより

2016
2.1
No.151
TENDO

▲成生地区では、小正月の頃に、子ども、青壮年及び高齢者が一堂に集い、だんござしや縄ないなどの伝統文化を体験し、世代間の交流を行っています。

12月定例会

2 一般質問　９人
8 予算特別委員会　平成27年度補正予算
9 提出された議案とその結果
10 特集　議会報告･意見交換会の検討結果
11 市民の声・３月定例会の日程（予定）
12 議会報告・意見交換会のご案内

TENDO®

インターネットで議会中継
天童市議会　で　検索
http://www.city.tendo.yamagata.jp

市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、12月８日・９日の２日間の日程で、９人の議員が行いました。

高齢者福祉政策をはじめ、児童生徒の基礎学力の向上、選挙権年齢の18歳以上への引下げ等について、市長や教育長等の見解を求めました。

※議員の原稿をそのまま掲載しています。

質問者と質問事項（☆印は会派名）

★清新会

笹原隆義 議員
- ＊高齢者福祉政策の充実について
- ＊具体的な空き家対策について
- ＊市のワンストップサービスについて

★政和会

三宅和広 議員
- ＊児童生徒の基礎学力の向上について
- ＊若者の地元就職やUターンを促すための意識改革について

佐藤俊弥 議員
- ＊第六次天童市総合計画の将来目標人口について

結城義巳 議員
- ＊「地方創生総合戦略」について国の「本気度」と「地方創生総合戦略」の実現性に疑問
- ＊中・長期にわたる、東北という、広域的な魅力のある繁栄について

松田光也 議員
- ＊18歳選挙権における本市の対応について
- ＊青少年のＩＣＴ環境整備について
- ＊インターネット依存症について

★市民クラブ

狩野佳和 議員
- ＊市長の３期目の出馬について
- ＊市立中学校に通う生徒の死亡事案について

赤塚幸一郎 議員
- ＊予約制乗合タクシー運行事業について
- ＊ふれあい荘・かまた荘の管理運営事業について

★日本共産党天童市議団

石垣昭一 議員
- ＊ＴＰＰ交渉の大筋合意と対応について
- ＊保育料の軽減について

伊藤和子 議員
- ＊障がい児教育の前進のために
- ＊不登校児童・生徒の対策について
- ＊市が所有する財産の適正管理について

12月定例会

平成27年度第５回市議会定例会（12月定例会）は、12月４日から12月18日までの15日間の会期で開かれました。

市長提出の議案３件については初日の本会議で採決が行われました。そのほか、平成27年度一般会計補正予算をはじめとする予算議案８件及び条例議案等13件については、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、最終日の本会議で採決が行われました。

また、12月18日に予算議案１件が提出され採決が行われました。

（採決結果は９ページに掲載してあります。）

審議日程

月　日	内　容
12.4（金）	**本会議**（会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など）
12.8（火） 12.9（水）	**本会議**（市政に対する一般質問）
12.10（木）	**総務教育常任委員会**（付託案件の審査） **環境福祉常任委員会**（付託案件の審査）
12.11（金）	**経済建設常任委員会**（付託案件の審査）
12.14（月）	**予算特別委員会**（付託案件の審査）
12.15（火）	**予算特別委員会**（討論、表決）
12.18（金）	**本会議**（委員長報告、質疑、討論、表決など）

介護福祉の質と量の確保を

笹原隆義議員

市が主体となり介護事業者を積極的に誘致し、介護従事者の育成も含めた人員確保に協力するなど、先を見据えた対策を講じるべきである。高齢者福祉政策を進めるに当たり、介護従事者をどのように確保するのか計画に盛り込んで取り組むべきだと考えるが、市長の考えを伺いたい。

山本市長　本市としても、介護職員への研修案内や情報提供などを積極的に行うとともに、国や県と連携を図りながら、介護事業者に対する支援を引き続き行っていく。

近隣の市町と連携して取り組む必要もあると考えるが、市では少子化による介護保険事業計画をどのように考えているのか伺いたい。

山本市長　当面は国や県の人材確保施策への支援を行うとともに、意見交換などを通して近隣市町との連携を図っていきたいと考えている。

今後、我が国の生産年齢人口が減少することを踏まえ、国では外国人実習生の導入も視野に入れた動きが盛んに進んでいるが、市でも介護や医療の分野での実習生の受け入れを検討し、彼らへの支援を含めた対応策を議論することも合わせて考えるべきだと思うが、市長の考えを伺いたい。

山本市長　現時点では受け入れに対する支援などの対応策は検討していないが、今後とも国の動向などを注視しながら適切に対応する。

介護の魅力を若い世代にどう伝えていくか、職場体験など行政としてもより積極的に進めるべきと考えるが、市長の考えを伺いたい。

山本市長　子どもの頃からそういう状況を作り出していくことは重要であり、十分検討していく。

▲介護福祉の現場

貧困による教育格差をなくすために

三宅和広議員

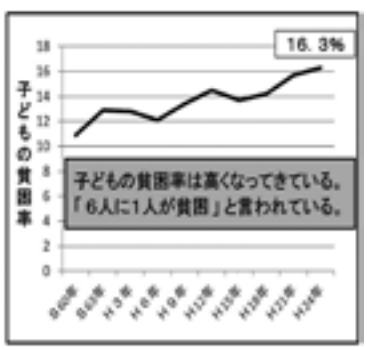
現在、子どもの貧困率は16・3㌫、6人に1人が貧困状態にある。貧困は親子間で引き継がれる割合が高く、貧困の世代間連鎖を断ち切るためには、貧困による教育の格差をなくさなければならない。貧困の連鎖を断ち切ることは将来に向けた投資になる。学習習慣を身につけ基礎学力を向上させるために、学習塾講師や退職教員、大学生を講師として、小・中学生、高校生を対象にした学習教室を市内各所で開講してはどうか。教育長の考えを伺いたい。

水戸部教育長　日新製薬教育振興基金を活用した、活力ある学校づくり推進事業の一つとして、地域の協力により本市の教育を一層推進する地域人材活用による学力向上事業を来年度から試行し、実証的検証を行いたいと考えている。学力を向上させるためには学習習慣を身につけることが大切である。この学力向上事業に限らず様々な面で子どもたちの学習習慣を育てていきたい。

若者の地元就職を促すために

若者に天童市が期待しているということを理解してもらうために、経済状況が厳しい家庭の生徒に給付型の奨学金を支給したり、大学卒業後に天童に住み就職した者に対して、奨学金返還のための給付金を支給するような制度を作ってはどうか。地元企業に就職する若者が増え人口減少問題の解決の一助になると思うが、教育長の考えを伺いたい。

水戸部教育長　来年度から、県と市町村等が連携して基金を設置して大学生等を支援する制度がスタートする予定である。この制度を活用し、本市への若者の就職・定着促進を図りたいと考えている。



▲平成25年国民生活基礎調査を基に作成

本市の目標人口について

佐藤俊弥議員

10月に策定された県のやまがた創生総合戦略の人口ビジョンでは、45年後における本県の人口は79万人まで減少するとの推計が出された。人口は自治体経営の基礎となるものであり、本市の第六次総合計画では、平成28年に6万4000人を目標としているが、現在6万2000人強で推移している。市長はどう捉え、また今後の本市の人口予測をどう考え、どのような施策を展開しようとしているのか伺いたい。

山本市長　本市の人口については、土地区画整理事業の推進や工業団地の整備、子育て支援の充実等により、転入者が転出者を上回っている。

しかし、少子高齢化が急速に進展し、日本全体が人口減少の局面に入っている。本市では、天童市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定を進めており、妊娠期・子育て期の世代への支援策や安定的な収入を得るための働く場所の確保等、定住人口の増加に向けた施策を重点的に取り組んでいきたいと考えている。

ふるさと納税の返礼で交流人口の拡大を

県内外からふるさと納税をしていただいた方に本市の魅力を満喫できるプランの作成を考えてみてはどうか。

その中には、地産地消にこだわった食べ物の試食や返礼品の制作現場の視察、天童高原から眺める景観等、文化や遺跡も含め総合案内人がお供し説明する。

また、特別席を用意した人間将棋の観覧や平成鍋合戦への招待等を行ってはどうか。

山本市長　ふるさと納税は大変順調に経過している。天童の特長を十分に捉えたふるさと納税の返礼品というようなことで、魅力溢れるアイデアと事業内容をぜひお待ちしたいと思っている。同時に私どもの担当部署に十分に検証するように指示していきたい。

地方創生総合戦略、国の本気度に疑問

結城義巳議員

小泉内閣の「三位一体の改革」も、地方分権一括法の施行も地方のための改革になっていない。近年の国の経過から考えると、「地方創生に本気なのか」という疑念がある。市長はどう考えるか。

山本市長　三位一体の改革と地方分権一括法の目的は、地方財政基盤を確立し真の分権型社会を実現することだったが、税源移譲は不十分で、地方交付税が大幅に削減されるなど地方自治体が期待するような自立性は高まらなかった。

地方創生総合戦略は、我が国の人口減少問題に対し、国と地方が共通の認識に立ち力を合わせて取り組むことが重要である。本市の優れた資源に磨きをかけ、地域の特性を生かしたまちづくりを進めることによって若者を呼び込みたい。また、雇用創出のため、天童インター産業団地の早期完成を図り企業誘致に全力を挙げている。

中・長期にわたる、東北の繁栄について

戊辰戦争の敗北は、奥羽越列藩同盟の結束が崩壊したためと言われる。昭和56年に本市で開催された東北地区公民館大会で、阿部金蔵元天童市長は「中央と地方の政治に格差が出ている。今こそ、東北は一丸となって頑張るべきである。」と熱弁を振るっている。市長はどう考えるか。

また、東北の発展には各県に国の重要な機関が必要だ。山形には、がん治療等に関係する機関を誘致し、高級官僚や大臣が来るようになれば、鉄道、道路、空路のすべてが整備される。実現すれば、首都圏から優良企業を誘致でき、若者の人口も増え、活気のあるまちになる。市長はどう考えるか。

山本市長　真の地方創生は一自治体のみで達成できるものではない。他自治体との連携を深めながら地域に活力を生み出し、東北全体の活力の底上げにつなげていきたい。また、国の2機関の本県への移転要望が出されており、移転が進展することによって、新しい人の流れが生まれることが期待できる。

18歳以上の主権者意識と対応は

松田光也議員

選挙権年齢をこれまでの20歳以上から18歳以上に引き下げる改正公職選挙法が可決成立し、平成28年夏の参議院選から18歳以上の若者が選挙権を得ることになった。18歳の年齢はほとんどが高校生であり、今後の政治教育や選挙に関する主権者教育をどのように指導していくのか伺いたい。

秋葉選挙管理委員長　全国で約２４０万人、本市では約１２００人が新しく有権者になる。若者が投票を通して国づくり、地域社会づくりに参加する道が開かれたという意味で、大変意義深い。多くの若者が投票に参加するよう、高校及び関係機関と連携しながら積極的な啓発活動を行っていく。高校生の指導に当たっては、高校において教育基本法に基づき、政治参加意識の醸成を図っていくことになる。

本市のインターネット依存症の現状は

常にスマートフォン等に触れていないと不安でイライラし日常生活に支障が出る状態となるネット依存症が増加している。平成25年の厚生労働省の調査では、中学生は6㌽、高校生は9・4㌽で人数は推計51万８０００人となっている。依存症がひどくなると、専門医の治療が必要となる。本市のインターネット依存症の現状と対応について伺いたい。

山本市長　近年、スマートフォン等の急速な普及に伴い、依存症が社会問題化され、特に中高生を中心に、長時間の使用による睡眠障害や、昼夜逆転から不登校に発展する事例などが報告されている。本市としても、インターネットやＳＮＳ等の適切な利用や依存の危険性について、児童、生徒を始め、保護者、地域住民に対し、知識の普及啓発を図っていく。

▲投票所の風景

いじめが主原因で死亡した中学生への責任のとり方は

狩野佳和議員

学校の設置者として、市長はどのように責任をとるのか。また、独立行政法人日本スポーツ振興センターに死亡見舞金を請求したが、それとは別に、独自に見舞金を支払うべきと考えるが、予定はあるのか。

山本市長　このような事態が二度と生じないよう、教育委員会と共に、いじめの未然防止、早期発見、早期対策に全力を尽くすことで責任を果たしたいと考える。また、見舞金については御遺族に関係することなので答弁は控えたい。

事案当日１月７日の午後５時「不登校などの事実はなく、いじめ調査でも問題は確認されていない。」と記者会見をした。その後１月15日にも「いじめがあったかは分からない。」「先生や生徒からそうした話は出ていない。」と記者会見した。しかし、報告書では主たる原因はいじめによるものと判断され、記者会見の内容を覆すことになった。学校側と教育委員会の責任は重大である。教育委員会のトップの教育長は、どのように責任をとるのか。ここは、教育長として区切りをつけるべきである。任期途中で身を引き、退職金も辞退し、見舞金として支払うべきと考えるが、教育長の考えを伺いたい。

水戸部教育長　事案発生直後の記者会見時は、事実確認を行っている最中であり、いじめの事実を偽ったものではない。

現在は、関係生徒等への指導、教職員の研修会、地域全体でのいじめ防止対策の推進等再発防止に懸命に取り組んでいる。今後このような出来事が二度と起きないように、しっかりとした取り組みを行うことが、私の責任のとり方と考えている。

予約制乗合タクシー運行事業の改善を

赤　塚　幸一郎　議員

今後の高齢化社会の進展に対応したサービス向上の観点から、現在運行している予約制乗合タクシーの課題とその改善に向けて質問する。

現状の課題は一つ「利用者が極端に少ない」こと。年間の延べ利用回数が5664回で1回当たりの費用が2650円となり、利用者という観点で見れば1172名の登録者の中のわずか272名にすぎない。1500万円の委託費用を割れば1人当たり5万5000円掛かっている。サービス向上の面と合わせ、費用対効果の面からも見直しが必要と考える。

利用拡大に繋がらない原因はいろいろあると考えられるが、利用者の意見として、電話での予約が面倒、停留所への移動や待ち時間の調整が困難など、利用者側の視点になっていない。

そんな課題を解決する手段として、一般に利用可能なタクシー利用の補助という方法もあると考えるが、市長の所見を伺いたい。

山本市長　この運行制度を開始して5年、必要な交通手段として一定の評価をいただいているが、指摘されていることについては承知しており、費用対効果の面でも課題があると認識している。新たな運行形態については、利便性を考慮して戸口から戸口への区域拡大や予約なし運行など様々な角度から検討を行っている。

　また、タクシー補助制度への移行については、対策の一つとして考えられるが、利用者が限定されるという課題もあり、高齢者や低所得者の交通手段や公共交通のあり方も含め調査研究をしていく。

▲予約制乗合タクシー「ドモス」

ＴＰＰ交渉大筋合意での対応は

石　垣　昭　一　議員

ＴＰＰ交渉大筋合意は、史上最悪の農林水産物輸入自由化を約束したものとなった。

これは食料自給率の一層の低下と地域経済の衰退に繋がるものである。ＴＰＰに対してキッパリ反対し、国に交渉案の撤回と交渉からの撤退を求めるべきと思うが、市長の考えを伺いたい。

山本市長　大筋合意では、重要5品目の関税撤廃は回避されたものの、米の輸入枠の拡大、牛肉・豚肉の関税の大幅な引下げ、さらには、本市の重要品目であるサクランボ、リンゴ、ブドウ等の関税が撤廃される等、本市農業への影響が強く懸念されるところである。

　政府は11月25日、総合的なＴＰＰ関連政策大綱を策定し、農林水産省においても、農林水産分野におけるＴＰＰ対策を発表した。この中では、農業者の懸念と不安を払拭し、重要5品目の経営安定対策を充実するとともに、体質強化を図り、夢と希望の持てる農政新時代を創造するとしている。

　市としては、農業の持続的な発展に向けて、県と歩調を合わせながら、国に対して必要な施策を要望するとともに本市の農業を守っていきたい。

保育料の軽減について

保育料の算定については、年少扶養控除の激変緩和のために、みなし適用されてきたが、年少扶養控除に替わる減免措置の導入について、市長の考えを伺いたい。

山本市長　認可保育所の保育料算定については、国が定めた新たな階層区分が、旧制度の年少扶養控除分も考慮した階層区分とされていることから、本市ではこれをもとに、旧制度における年少扶養控除分を加味した保育料と同程度になるよう保育料を設定している。

　また、本市の保育料は国の基準を下回って設定しており、年少扶養控除に替わる減免措置は考えていない。

障がい児教育の前進のために

伊藤和子議員

文部科学省の資料によると、義務教育の児童は減少傾向にあるが、小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒は2・1倍に、通級指導を受けている児童生徒は2・5倍に増加しているという。本市の現状はどうか。

障がいに適応した教育を実施する上で、特別支援教育の専門性を向上させる研修や施設整備は十分か伺いたい。市ではすこやかスクール支援員を配置しているが、現状からもう少し増やす考えはないか。

水戸部教育長　本市から各特別支援学校に就学している児童生徒数は35名で、市内の小・中学校の特別支援学級には93名在籍している。言語の通級が93名で、学習障がい、注意多動性の通級が15名おり、特別な支援を必要とする児童生徒は年々増加傾向にあり、特別支援学級の定員を3名から4名になるよう県に要望している。

本市では特別支援教育コーディネーター研修会等を通して、教職員の専門性の向上に努めながら、一人ひとりの教育的ニーズに応じた環境整備に努めている。

すこやかスクール支援員については、学校からも増員の要望があり、学校の実態に応じて対応していきたい。

財産の適正管理を

市が所有する財産で活用されていない物件の管理状況と今後の対応を伺いたい。鍬ノ町の保留地、旧学校給食センター跡地など土地の処分は。また、現在使用されていない建物の管理状況と今後の対応は。

山本市長　市の所有で利活用されていない土地は18件で、1万2736平方㍍。道路事業や土地区画整理事業の残地で、処分が難しいものが多いが、消毒や除草を行っている。処分可能な物件は6件で公売による売却に努める。学校給食センター跡地は適切な対応策を考える。建物についても適正な管理を行っている。

議会のうごき

■11月

1日　天童ラ・フランスマラソン2015
2日　経済建設常任委員会研修会・懇談会
4日　福岡県福津市議会視察来童
4日　総務教育常任委員会研修会
5日　福井県大野市議会視察来童
5日　総務教育常任委員会研修会・懇談会
5日～6日　ラ・フランストップセールス（大阪／議長・市長）
6日　宮城県富谷町議会視察来童
6日　環境福祉常任委員会研修会・懇談会
11日　神奈川県大和市議会視察来童
12日　岩手県二戸市議会視察来童
12日　東根市外二市一町共立衛生処理組合議会　新任議員研修
13日　山形県市議会議長会議会報研修会（上山市／広報委員会委員）
16日　市議会議員と市内学童保育関係者との懇談会
17日～18日　山形県市議会議長会総会（寒河江市／議長・副議長・局長）
18日　佐賀県唐津市議会視察来童
18日　各派連絡会議
19日　市長要請総務教育常任委員会（消防体制の充実について外）
20日　議会運営委員会（議会報告・意見交換会について）
20日　東根市外二市一町共立衛生処理組合議会 議会運営委員会
24日　広報委員会
25日　三市二町正副議長懇談会（山形市）
27日　各派代表者会（期末手当について）
27日　議会運営委員会
30日　平成27年度田井橋再架促進期成同盟会総会（河北町）
30日　東根市外二市一町共立衛生処理組合議会 全員協議会・定例会
30日　県知事及び県議会議長への山形県市議会議長会要望運動（山形県庁／議長・局長）

■12月

2日　経済建設常任委員会所管現場視察（天童高原キャンプ場、市内耕作放棄地）
4日～18日　第5回市議会定例会
4日　広報委員会
10日　総務教育常任委員会所管事務調査（市学校給食センター）
17日　議会運営委員会
18日　広報委員会
22日　栃木県小山市議会視察来童

■1月

4日　新春賀詞交歓会
6日　広報委員会
13日　広報委員会
14日　市長要請総務教育常任委員会（ふるさと納税の現況について外）
19日～21日　政和会先進地視察（久留米市、下関市、萩市）
20日～22日　清新会先進地視察（北名古屋市、東海市、御殿場市）
25日　議会運営委員会、第6回市議会臨時会
25日　市長要請全員協議会（天童市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）及び天童市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（案）について）
28日　村山市議会との議員懇談会（村山市／議長、副議長、議会運営委員長外）
29日　東根市議会との議員懇談会（議長、副議長、議会運営委員長外）

予算特別委員会

平成27年度一般会計補正予算
1億5618万7000円を増額補正

12月4日の本会議に一般会計を含む計8会計の補正予算が上程され、予算特別委員会に付託され審査された後、本会議において、原案のとおり可決されました。

また、12月18日の本会議に一般会計1219万4000円を追加する補正予算が上程され、原案のとおり可決されました。審査の主なものは次のとおりです。

好調のふるさと納税

委員　ふるさと納税の推進に要する経費の報償品費3億1536万円の内訳は。

市長公室長　ふるさと納税の申込みが好調で、20億円に達する見込みである。今回の補正の内容は、今後、5万件の寄附金収入に相当する経費で、主にお礼の品としてお届けする特産品や事務用品に係る経費である。

18歳からの選挙権年齢実施に向けて

委員　選挙システム改修業務委託料の内訳は。

選挙管理委員会事務局長　来年7月に予定される参院選から適用される選挙権年齢が18歳に引き下げられることに伴う電算機システムの改修を委託するものである。参考までに現時点での18、19歳の市内人口は1183人であるが、高校生を対象にした出前講座や模擬投票などの選挙啓発活動の実施を検討している。

青少年大使の相互交流経費増額

委員　相互交流経費が80万円増額で140万円となるが、その使途、財源の内容は。

学校教育課長　マールボロウ青少年大使派遣として中学生4名を予定しており、交通費や宿泊費等に係る自己負担を軽減するため、1人当たり35万円を限度に補助するものである。

また、財源の内容は、ふるさと納税から50万円、日新製薬教育振興基金から90万円で合計140万円を予定している。

元気な6次産業化応援プロジェクト事業

委員　事業費補助金約1300万円の内訳は。

農林課長　サクランボを活用した商品の生産、開発、加工、販売として、直売所、飲食店舗、作業所の設備投資への支援を行うものである。

芳賀地区整備事業

委員　芳賀土地区画整理に要する経費と芳賀地区の整備に要する経費が大幅に減額となるが、その理由と減額後の事業の見通しは。

都市計画課長　いずれも国の補助金の内示額が、要望額を大幅に下回ったことによる事業の見直しに伴う減額補正である。内示により実施できない事業については、平成28年度に追加して補助金を要望し、当初事業と併せて実施し、工事完了は平成29年度になる。

予算特別委員会 正副委員長を互選

12月4日に開催された予算特別委員会において、委員長及び副委員長が互選されました。

委員長　松田　光也
副委員長　渡辺　博司

なお、予算特別委員会は、議長を除く全議員で構成されています。

一般会計補正予算（第5号及び第6号）のあらまし

補正額　1億5618万7000円
予算総額　261億9532万5000円

◆主な内容　（単位：千円）

ふるさと納税の推進に要する経費	386,597
住民税システム改修業務委託料	4,536
選挙システム改修業務委託料	2,484
老人福祉施設の整備支援に要する経費	2,700
未熟児養育医療に要する経費	2,124
生活保護等の事務に要する経費	8,023
天童市民病院事業会計負担金	14,431
農業振興一般に要する経費	20,985
果樹の振興に要する経費	7,456
観光誘客に要する経費	5,000
天童高原施設の管理運営に要する経費	△27,000
地方道路の新設改良に要する経費	△9,000
芳賀土地区画整理に要する経費	△9,436
公園の管理に要する経費	△75,309
天童古城地区の整備に要する経費	△30,927
芳賀地区の整備に要する経費	△172,232
灯油購入費助成事業費補助金	12,194

提出された議案と結果

平成27年度第４回臨時会が開催され、原案のとおり可決されました。また、平成27年度第５回定例会に提出された議案とその結果は次のとおりです。

第４回臨時会（10月7日～ 10月13日）〈市長提出議案〉

議案番号	件　　名	結　果
議第29号	天童市監査委員の選任について	同　意 (全会一致)

第５回定例会（12月4日～ 12月18日）〈市長提出議案〉

議案番号	件　　名	結　果
議第30号	平成27年度天童市一般会計補正予算（第５号）	原案可決 (全会一致)
議第31号	平成27年度天童市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決 (全会一致)
議第32号	平成27年度天童市介護保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決 (全会一致)
議第33号	平成27年度天童市後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	原案可決 (全会一致)
議第34号	平成27年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算（第２号）	原案可決 (全会一致)
議第35号	平成27年度天童市水道事業会計補正予算（第１号）	原案可決 (全会一致)
議第36号	平成27年度天童市民病院事業会計補正予算（第１号）	原案可決 (全会一致)
議第37号	平成27年度天童市公共下水道事業会計補正予算（第１号）	原案可決 (全会一致)
議第38号	天童市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の設定について	原案可決 (全会一致)
議第39号	天童市職員定数条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第40号	天童市一般職の職員に対する退職手当の支給に関する条例及び議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第41号	天童市市税条例等の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第42号	天童インター産業団地造成工事請負契約の一部変更について	原案可決 (全会一致)
議第43号	天童インター産業団地道路整備工事請負契約の一部変更について	原案可決 (全会一致)
議第44号	天童インター産業団地排水施設整備工事請負契約の一部変更について	原案可決 (全会一致)
議第45号	天童市市民いこいの家、天童市老人保養センター及び天童市公衆浴場の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議第46号	天童市市民保養施設の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議第47号	天童市総合福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議第48号	天童市美術館の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議第49号	天童市立旧東村山郡役所資料館の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議第50号	天童市スポーツセンター及び天童市農業者トレーニングセンターの指定管理者の指定につて	原案可決 (全会一致)
議第51号	天童市観光情報センターの指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議第52号	天童市駐車場の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議第53号	天童市市民プラザの指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議第54号	平成27年度天童市一般会計補正予算（第６号）	原案可決 (全会一致)

議案等に対する議員の賛否一覧表（賛否が分かれたもの。これ以外は全会一致）

議案	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	氏　名	熊澤光吏	笹原隆義	三宅和広	遠藤喜昭	佐藤俊弥	渡辺博司	武田正二	水戸芳美	遠藤敬知	村山俊雄	狩野佳和	松田光也	山口桂子	赤塚幸一郎	結城義巳	後藤和信	山崎　諭	石垣昭一	伊藤護國	水戸　保	伊藤和子	鈴木照一
	会　派	清	清	政	清	政	政	清	清	清	清	市	政	清	市	政	政	清	共	清	清	共	議長
請陳第３号	TPP交渉「大筋合意」は撤回し、調印・批准しないことを求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	

※　○＝賛成　×＝反対　議長は採決に加わらない。
※　会派：清＝清新会、政＝政和会、市＝市民クラブ、共＝日本共産党天童市議団

東根市外二市一町共立衛生処理組合

各市町の負担金が確定

平成27年11月30日に組合議会が開催され、平成27年度の各市町の負担金が確定した。

負担金は、均等割、施設規模割、し尿処理量割（平成26年度実績）、ごみ処理総量割（平成26年度実績）、証紙事業（ごみ袋代等）などで決定する。

平成27年度構成市町負担金確定額

（単位：千円、％）

市町名	平成27年度	平成26年度	前年度比
天童市	323,250	326,563	99.0
東根市	270,636	278,044	97.3
村山市	142,575	140,770	101.3
河北町	122,279	120,191	101.7
合　計	858,740	865,568	99.2

特集 議会報告・意見交換会の検討結果について

前回（平成27年５月に開催）の議会報告・意見交換会において、市民の皆様から出された市政に関する意見・要望等については、アンケートに記載されていた項目も含めて、全て市長に文書で伝えました。その中で、各常任委員会で調査した項目については、次のとおりです。次回、２月16日開催予定の議会報告・意見交換会でも報告します。

	市政に関する意見・要望等	調査した結果
総務教育常任委員会	西沼田遺跡公園の復元建物のかやぶき屋根が壊れてきている。直してもらいたい。	西沼田遺跡公園は、平成20年にオープンしたが、その中にある復元建物については、平成17・18年に建設したことから、約10年が経過している。平成25年ごろから茅葺屋根の茅が少しずつはがれてきており、雨漏りはしていないが見栄えが悪くなってきているため、修繕を考えていたが、ほかにも修繕が必要な箇所があったことから、今年度は、安全重視の観点から、木橋の修繕工事と駐車場の排水溝のふたの設置工事を実施した。なお、茅葺屋根については、平成28年度以降、主屋から順次改修を行っていく予定である。
環境福祉常任委員会	天童北部地区では７カ所でいきいきサロンを実施している。事業の実施にあたっては、社会福祉協議会より毎年助成金をいただいているが年々助成金が少なくなっている。個人からも負担していただいているが高齢者が増えており厳しい運営となっている。足りないところは、町内会で負担している状況なので助成金の拡充をお願いしたい。	本事業は社会福祉協議会に委託して実施しており、実施要領に基づいて、サロンの発足年数に応じて助成金を交付している。 現在、国からは団塊の世代が75歳を迎える2025年を目途として地域包括ケアシステムの構築が求められている。地域包括ケアシステム構築においては、重度の要介護状態となっても住み慣れた地域で最後まで暮らすことが出来る居場所づくりが重要であるとされており、いきいきサロンはその居場所として大きな役割を果たすものと考えている。 このようなことから、いきいきサロンの充実を図る必要があり、助成額についても併せて検討していきたい。
	寺津児童クラブは今年建築されているが遊び場がない。100坪くらい用地を増やして野外運動場の整備を要望しているが聞き入れてもらえない。	放課後児童クラブの整備については、平成25年度から計画的に行っており、新たな用地を取得せず学校敷地や公民館敷地を活用しての整備を基本として進めている。 また、整備にあたっては、遊び場の整備を前提としていない。これまで津山児童クラブをはじめ、同様の考え方で整備を進めてきており、寺津児童クラブについても同様に整備するものである。
経済建設常任委員会	天童南駅の駐輪場に一刻も早く屋根を設置して欲しい。また、駐停車スペースもなく、用地を確保して整備すると聞いているが、本当にできるのか。明確な回答が欲しい。	駐輪場は、駅舎北側に100台分の屋根付き駐輪場が完成した。また、来年度以降に駅舎南側にも同規模の駐輪場の整備を予定している。駅前広場は、現在、用地交渉中であり、平成28年度事業として整備したい。
	ラ・フランスセンターの北側市道ができてから、田畑に水が出てきて困っている。駅西地区も同じだが、土地改良区か市で責任を持って整備してもらいたい。	駅西市街地との境界部に設置した暗渠は効果があったが、市道山形矢野目線沿いの湧水については量が多く、暗渠では効果が期待できない。道路ができてから、道路法面からの湧水とのことであるが、その原因の調査を進めたい。
	東北中央自動車道や山形自動車道の月山部分などの高速道路はいつ開通するのか。	東北中央自動車道及び山形自動車道の高速道路では、未整備区間で途中で途切れている区間が県内に８カ所ある。このうち東北中央道の秋田県境区間、山形道の月山区間が未だに事業化されておらず、早期の事業化を国に要望しているが、全開通までは見通せない状況である。残り６カ所は、現在事業を行っているが、供用開始年度が発表されていない箇所もある。 平成29年度は、福島～米沢北及び大石田～尾花沢が、平成30年度には、南陽～上山が供用開始となり、これにより福島から東根までが開通する。
	カラス対策については、市長とのまちづくり懇談会でも必ず出る問題だが、市側の回答の「防鳥ネットによる自己防衛策の推進」は既にやっており、回答に不満を強く感じている。 「鳥獣被害対策実施隊による駆除」と記載されているが、どのような内容なのか。	鳥獣被害対策実施隊は、平成26年４月１日に市の担当職員と猟友会員を隊員として発足した。鳥獣による農作物の被害防止を目的として、有害鳥獣の捕獲、追払い、被害調査等を行っている。 平成27年度は、銃器によるカラス駆除を干布・荒谷地区では４回実施したところである。 カラスに対しては、市街地でも被害が訴えられており、追払いは別の地区への被害となり、いたちごっことなってしまう。また、糞害に対しても清掃を行うしかない。全国の市町村でカラス対策に取り組んでいるが、どんな方法が効果的なのかを調査研究している状況である。
	地方の人口減少問題について提案したい。 ①周辺地域の人口減少対策として、工業団地以外に、荒谷地区に住宅団地を造ることを考えられないか。 ②農地に住宅を建てることは問題であるのだろうが、優良田園住宅認定制度を活用して人口増加を図ることはできないか。	人口減少問題は地方創生の根幹であり、市全体の問題でもある。 荒谷地区における住宅団地・優良田園住宅の要請に対しては、市が主体で市街化調整区域での開発を積極的に進めることはできないが、民間開発事業者等と地域が連携し、優良田園住宅認定制度等を活用した住宅団地開発を行うことは可能である。他に県住宅供給公社による開発もあり、市として働きかけていく。議会としても、雇用と住宅の確保は人口減少問題の根幹なので、議論を尽くしていく。

市民の声

初めての市議会傍聴

小室雅明（68歳・長岡北）

私が居住する地区から当選された若手議員の質疑傍聴の噂が流布しました。小学校設立と同時に転居してきましたが、市議会議員選挙に〝卒業生の立候補だって〟の噂に期待が広まったようでした。そして、連日勤勉に夕方の街頭連呼は、昔は父兄、今は老人たちに期待の種火となったようです。私も昔は父兄。老爺心が湧立ち、初めての市議会傍聴に参加しました。

幾人かの元父兄と出くわしましたが、〝暇な年金受給者の暇潰し〟の引け目を覚えながら、満席の傍聴席を確保しました。2階からの議会の眺めは、議長を中心に左右に市役職者の面々と対面しています。傍聴席から見える選出された議員は後頭部ばかり。禿げあがった傍聴席と比べると、若さと意欲の房々たる頭髪の議員たち。

厳粛な雰囲気で議会が開会。若手議員の溌剌とした質疑から始まり、弁えた言葉遣いで明朗な議員の質疑に清涼感を覚えました。

答弁する市長は、次世代の市政を担う若手議員を育むかのような、明快でわかりやすい心温まるものでした。実に真摯に議会が展開されていることに感銘を受けました。

今回の議会では、選挙権年齢の引き下げや人口減少の話題に及びました。そこで、次世代を担う中学生や高校生を市側で送迎して傍聴席に招待してはどうでしょうか。臨場感溢れる議会の雰囲気を体験してもらうことで、市政意識の高揚とふるさと定住の策としてはと、倉津川沿いの堅いしだれ桜の蕾を見上げました。

3月定例会の日程（予定）

2月29日（月）本会議（初日）
3月2日（水）予算特別委員会
3日（木）本会議
4日（金）本会議（一般質問）
7日（月）本会議（一般質問）
8日（火）常任委員会
9日（水）常任委員会
10日（木）常任委員会
11日（金）予算特別委員会
14日（月）予算特別委員会
15日（火）予算特別委員会
17日（木）予算特別委員会
18日（金）予算特別委員会
23日（水）本会議（最終日）

※請願の締め切りは、2月19日(金)正午までの予定です。
※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

請願・陳情の結果

今定例会で審査された請願・陳情は1件で、所管常任委員会で審査した後、本会議で採決が行われました。結果は次のようになりました。

件　名	提出者	付託委員会	結　果
ＴＰＰ交渉「大筋合意」は撤回し、調印・批准しないことを求める請願	天童市農民組合 組合長　太田　正良	経済建設	**不採択（賛成少数）**

会議録をご覧ください

市議会の会議録は、図書館と市立公民館に備えてあります。一般質問に対する市長や教育長等の答弁のほか、予算・決算特別委員会における質疑と答弁が全て記載されています。ぜひ、ご覧ください。また、天童市議会のホームページにも掲載しています。

編集後記

●ここ数年は大雪が続きましたが、今年は雪の無い正月を迎えることになりました。建勲神社の元旦早朝の初詣には今までにない長い列ができたようです。

●天童高原では雪不足に悩まされたようです。年末年始の客数が少なく、スキー教室等の行事を延期したものもあるようです。

●昨年12月には、改選後初の定例会が開催され、新人議員もそれぞれの立場で様々な発言をしました。

●今号から一般質問の顔写真を本会議場の本番のものを掲載し、若干大きくしました。少しでも本会議場の臨場感が伝われば幸いです。

《広報委員会》

委員長　伊藤　和子
副委員長　狩野　佳和
委員　佐藤　俊弥
〃　遠藤　喜昭
〃　三宅　和広
〃　笹原　隆義
〃　熊澤　光吏

みなさんの声をお聞かせください。

議会報告・意見交換会

議会の活動状況や議会で特に議論になった話題などについて報告するとともに、地域の課題について意見交換を行います。昨年の議員改選により新体制となり、今回は中学校区ごと４会場での同時開催となります。

お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

1班
津山公民館

熊澤　光吏
佐藤　俊弥
赤塚幸一郎
山崎　諭
水戸　保

2班
天童北部公民館

三宅　和広
武田　正二
村山　俊雄
後藤　和信
石垣　昭一

3班
長岡公民館

遠藤　喜昭
渡辺　博司
遠藤　敬知
松田　光也
山口　桂子
伊藤　和子

4班
天童中部公民館

笹原　隆義
水戸　芳美
狩野　佳和
結城　義巳
伊藤　護國

2月16日（火）
午後7時から

発行　天童市議会　山形県天童市老野森一丁目1番1号　電話023（654）1111
編集　天童市議会広報委員会　印刷　寒河江印刷株式会社

VEGETABLE OIL INK
この広報紙は
再生紙・植物油インキを使用しています。